

近未来技術等社会実装事業選定基準（評価項目と評価・採点方法）

評価項目	評価・採点方法 (合計100点)			評価・採点の視点
	S	A	B	
評価	S	A	B	
1 事業の分野				
	10	6	2	複数の分野にまたがる事業であるか。
2 背景・課題				
(1) 地方公共団体が目指す将来像	10	6	2	地方創生の観点から目指す将来像が適切に設定されているか。課題解決に至るための現状の構造的な課題が、定量的な分析により明らかにされているか。
(2) 解決すべき課題				
3 近未来技術等実装に関するこれまでの事業内容				
(1) これまでの事業概要	10	6	2	これまでの事業の効果が明確な根拠に基づき示されているか。また、組織体制や計画への位置付け等が整備されているか。
(3) 事業の推進体制				
4 近未来技術等実装に関する今後の事業内容				
(1) 今後の事業内容・実施計画	10	6	2	2020年度までの事業内容及び実装目標年次までの事業内容が、分野ごとに具体的に記載されているか。また、選択した分野の推進に寄与する事業であるか。
(3) KPI	10	6	2	評価指標としてふさわしいKPIが設定されているか。また、多様な観点から複数のKPIが設定されているか。
5 事業により期待されている効果				
	10	6	2	地方創生に資する効果となっているか。また、効果が抽象的な表現になっていないか。
6 事業の推進体制				
	10	6	2	目指す将来像に向かって事業を推進することのできる体制が整備されている（又は今後整備される）か。地方公共団体における各種計画へ事業が記載されている（又は今後整備される）か。
7 地方創生への寄与				
(1) 革新性	5	3	1	これまでに例のない（又は少ない）事業といえるか。また、Society5.0に寄与する事業であるか。
(2) 先導性				
ア 自立性	5	3	1	事業を進めていくことにより、所得の向上へ寄与する事業であるか。
イ 官民協働	5	3	1	地方公共団体だけの事業ではなく、民間事業者と協働して行う事業であるか。
ウ 地域間連携	5	3	1	単独の地方公共団体だけの事業ではなく、関係する地方公共団体と連携し、広域的なメリットを発揮する事業であるか。
エ 政策関連携	5	3	1	一の政策目的を持つ単純な事業ではなく、複数の政策を相互に関連づけて、全体として、地方創生に対して効果を発揮する事業であるか。
(3) 横展開可能性	5	3	1	将来的に他の地方公共団体への波及が見込まれ、発展可能性の高い事業であるか。また、横展開可能性を広げるための対応策が講じられているか。